

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	住宅政策係
■評価事業名称	北上市住生活基本計画策定事業			
■事業開始年度	平成28年度			
■評価事業コード	070400 - 221	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	01 快適な住環境の整備		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	住生活基本法住宅セーフティネット法			
■関連計画の名称	北上市営住宅長寿命化計画、岩手県住生活基本計画、住生活基本計画(全国計画)			
■事業の目的と概要	北上市の「住まい」の在り方の方向性や、住宅政策の体系を示すもの。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	北上市住宅政策基本計画策定事業	市民・転入希望者・市内住宅・住宅市場	北上市住生活基本計画策定方針決定	本年度実施せず。 (政策経費ローリングにより平成30年度劣化調査実施、31年度計画策定業務委託予定)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	8		5	1	
人件費	458		375	76	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	466		380	77	

## 4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

国計画(H28.3月改定)及び県計画(H29改定予定だったが未改定)を参考にしつつ、本市の状況分析等から研究を進めている。

### 問題点・課題等

市民生活の根幹をなす住まいに関する計画であり、多方面の調査・分析と幅広い分野との連携が必要となる。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

計画の大項目の一つである市営住宅に関し、劣化調査を行う。また、住まい全般に関する市民アンケート等を含めた調査・分析業務を委託し、計画の精度向上と効率化を図る。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了